



子どもたち 先生方の笑顔のために

# 共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください



令和4年8月24日発行

第7号

長野県中信教育事務所

←過去の「共に歩まん」はこちら

## シリーズ「ここが大切 授業づくり」 外国語科編

### CAN-DOリストを日々の授業等に活用していきましょう

「CAN-DOリストの形式による学年ごとの学習到達目標」を、各学校ではどのように活用していますか？

作成したけど、普段の授業ではあまり意識して使えていないな…



具体的に、どのように活用をしていけばよいのだろう…



各学年末（修了・卒業時）の学習到達目標が書かれているCAN-DOリスト。これを日々の授業等に「活用」するためには、CAN-DOリストを各単元を考える際の「スタートライン」にすることが重要です。

具体的には「学習到達目標をふまえた単元目標を設定すること」です。

ある学校の学習到達目標と単元づくりの例を見ながら、確認しましょう。

#### 【学習到達目標】

第2学年の目標「書くこと」  
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる

この学校の第2学年の「書くこと」の目標のポイントは、「事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと」です。

この学習到達目標を基に、単元の目標を考えます。

#### 【単元の目標】 第○課の目標

ALTの家族に手紙を通して自分達の学校や町の魅力を知ってもらうために、学校行事や訪れてもらいたい場所等について、事実や自分の考え等を整理して、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書くことができる

上の学習到達目標を意識して、この課では「学校行事やALTの家族に訪れてもらいたい場所等について、①事実や自分の考え等を整理し、②まとまりのある文章を書くこと」を目標としています。

①、②って具体的にどのようなことかな？



- ・「事実や自分の考え等を整理する」とは・・・  
事実やテーマから想起される自分の考えや気持ちなどをメモ等を基にして書くことを指します。
- ・「まとまりのある文章」とは・・・  
文の順序や文同士の関係について注意を払い、全体として一貫性やつながりのある文と考えられます。

学習到達目標をふまえた単元目標を設定することで、先生方は単元ごとのつながりを意識して指導ができたり、児童生徒は自分の成長や課題を自覚し、今後の学びへの意欲としたりすることができます。

次の単元を構想する時、単元の単語や文法等だけを意識するのではなく、CAN-DOリストをもとに、どのような力を育むのかを考えて、単元の目標を立ててみよう。

